



HOKURIKU

# 2025年3月期 第2四半期 決算説明資料

2024年11月8日  
北陸電気工業株式会社  
(証券コード：6989)

➤ **1. 2024年度（2025年3月期）上期業績報告**

---

➤ **2. 2024年度（2025年3月期）通期業績予想**

---

➤ **3. 企業価値向上に向けた取組み**

---

➤ **4. トピックス**

---

### ■ 2024年度（2025年3月期）上期業績報告

- ・売上高は、顧客在庫調整の進展および円安進行を主因に前年同期比 + 2.7%の214億円
- ・営業利益は、前年同期比 + 13.2%の12億円となり増収増益

### ■ 2024年度（2025年3月期）通期業績予想

- ・期初に公表した通期業績予想から変更なし 売上高430億円、営業利益27億円を計画
- ・想定為替レートは1ドル = 140円
- ・株主還元のさらなる強化として  
年間配当金は、期初予想に対して20円増配の1株当たり80円を予定  
自己株式取得および消却の実施を決定

### ■ トピックス

- ・10月4日 当社初となる「統合報告書2024」をウェブサイト公開



# 1. 2024年度（2025年3月期）上期業績報告

---

- ・業績概要
- ・製品別売上高
- ・市場別売上高
- ・営業利益の増減要因（対前年同期比）
- ・貸借対照表
- ・キャッシュ・フロー

# 業績概要

- ▶ 売上高 214.2億円 前年同期比 +5.6億円
- ▶ 営業利益 12.5億円 前年同期比 +1.5億円
- ▶ 経常利益 9.4億円 前年同期比 ▲9.3億円 円高による為替損 4.1億円を計上
- ▶ 親会社株主に帰属する中間純利益 7.8億円 前年同期比 ▲7.3億円

(単位：億円)

	2023年度 上期実績	2024年度 上期実績	前年同期比	
			増減	%
売上高	208.6	214.2	+5.6	+2.7
営業利益	11.0	12.5	+1.5	+13.2
営業利益率	5.3%	5.8%	—	—
経常利益	18.7	9.4	▲9.3	▲49.5
親会社株主に帰属する中間純利益	15.1	7.8	▲7.3	▲48.4
為替レート(期末) 1 US \$ = 円	149.58	142.73	—	—

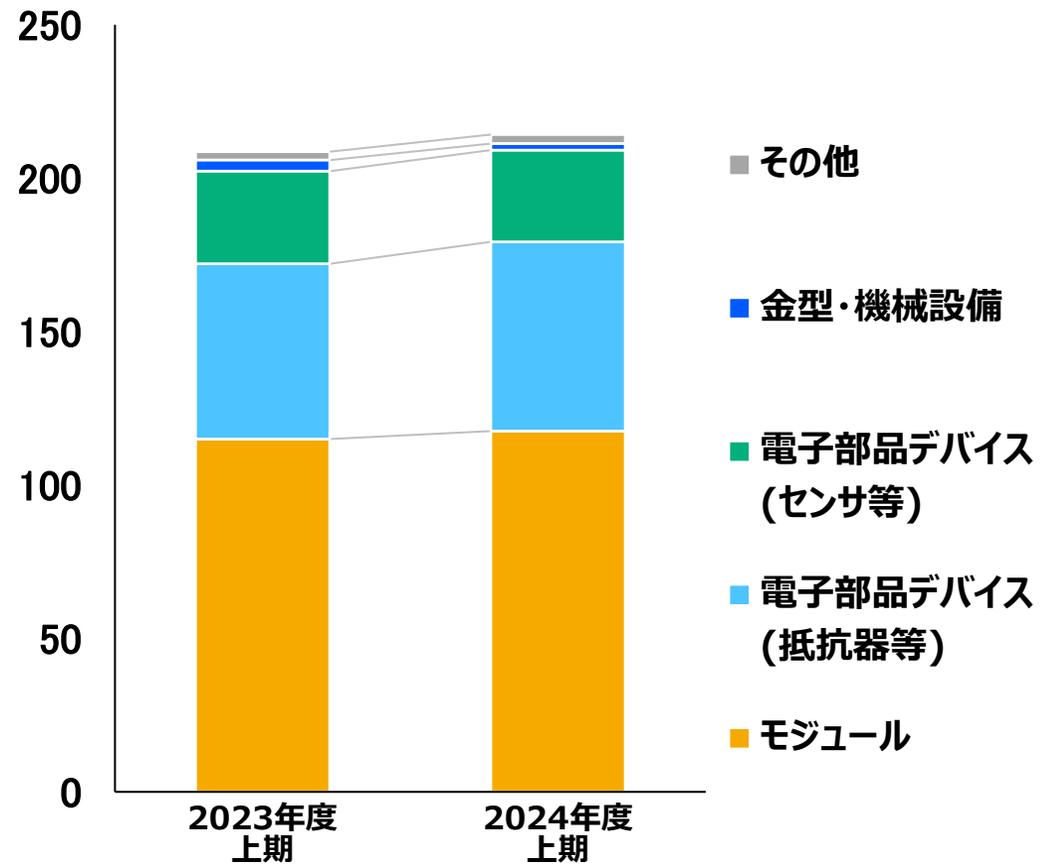
# 製品別売上高

- ▶ モジュール 新市場・新顧客向けで増加
- ▶ 電子部品デバイス 顧客在庫調整の進展により抵抗器やセンサなどにおいて受注増加、ピエゾ製品は自動車向けで減少

モジュール 売上高 117.6億円 前年同期比 +2.6億円  
 電子部品デバイス 売上高 91.6億円 前年同期比 +4.3億円

(単位：億円)

	2023年度 上期		2024年度 上期		前年同期比	
	実績	%	実績	%	増減	%
モジュール	115.0	55.1	117.6	54.9	+2.6	+2.2
電子部品デバイス (抵抗器等)	57.1	27.4	61.7	28.8	+4.6	+8.0
電子部品デバイス (センサ等)	30.2	14.5	29.9	14.0	▲0.3	▲0.9
金型・機械設備	3.6	1.7	2.1	1.0	▲1.5	▲41.3
その他	2.7	1.3	2.9	1.4	+0.2	+6.8
合計	208.6	100.0	214.2	100.0	+5.6	+2.7

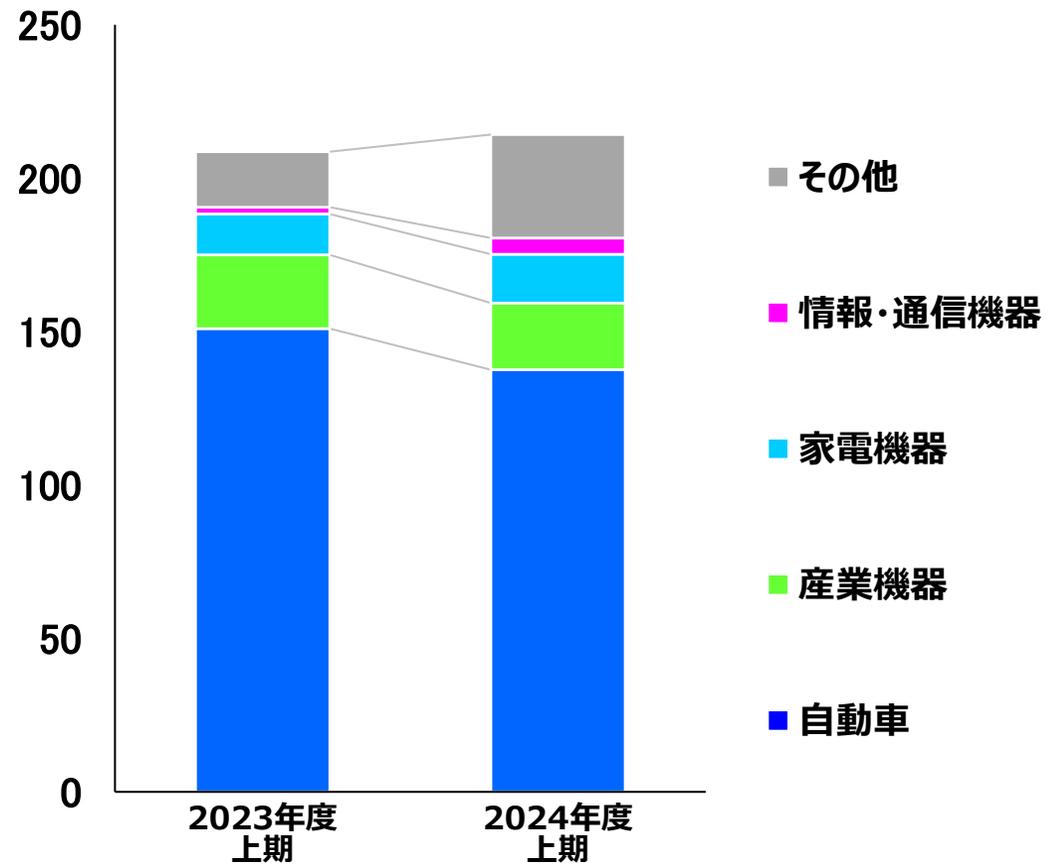


# 市場別売上高

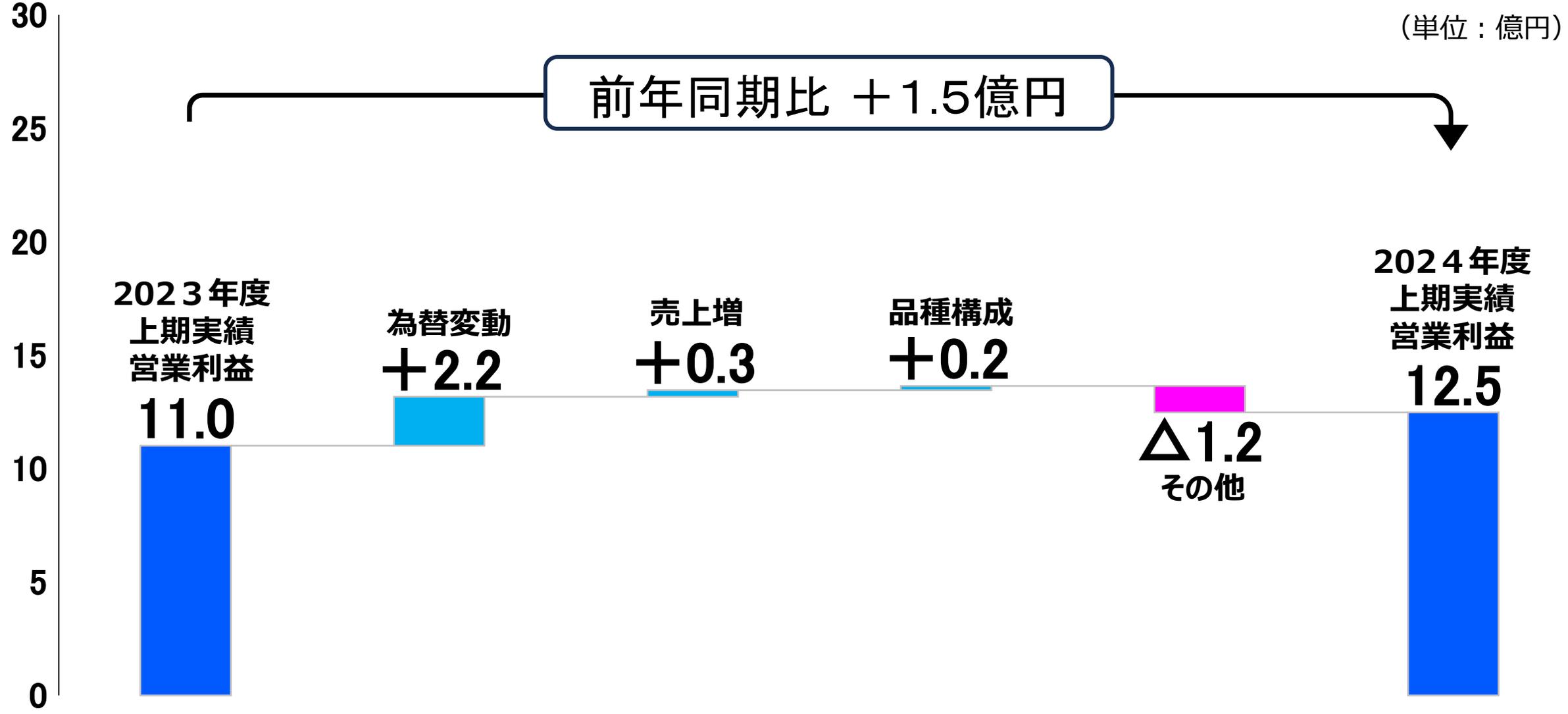
- ▶ 自動車 EV販売不振や自動車メーカーの生産調整の影響により減少
- ▶ 産業機器、家電機器、情報・通信機器、その他
  - 産業機器は低調推移、家電機器は主に空調関連で増加、情報・通信機器は総じて需要回復、その他は新市場・新顧客向けで増加

(単位：億円)

	2023年度 上期		2024年度 上期		前年同期比	
	実績	%	実績	%	増減	%
自動車	151.0	72.4	137.6	64.2	▲13.4	▲8.9
産業機器	24.0	11.5	21.7	10.2	▲2.3	▲9.5
家電機器	13.3	6.4	15.9	7.4	+2.6	+19.7
情報・通信機器	2.2	1.1	5.3	2.5	+3.0	+135.8
その他	18.1	8.7	33.7	15.7	+15.6	+86.3
合計	208.6	100.0	214.2	100.0	+5.6	+2.7



# 営業利益の増減要因（対前年同期比）



# 貸借対照表

- ▶ 総資産は、現金及び預金並びに売上債権の増加を主因に812百万円の増加
- ▶ 負債は、借入金の純減などから590百万円の減少

(単位：百万円)

	2023年度通期 (3月末)	2024年度上期 (9月末)	増減
流動資産	29,029	29,879	+849
現金及び預金	10,112	11,336	+1,223
受取手形及び売掛金	8,016	8,629	+613
棚卸資産	9,252	8,855	△396
固定資産	12,616	12,578	△37
資産合計	41,645	42,457	+812
流動負債	11,492	12,314	+821
支払手形及び買掛金	5,736	5,740	+4
短期借入金	3,856	4,401	+544
固定負債	10,046	8,634	△1,412
負債合計	21,538	20,948	△590
純資産合計	20,106	21,509	+1,402
負債・純資産合計	41,645	42,457	+812

▶ 純資産は、  
1,402百万円の増加

**主な内訳**

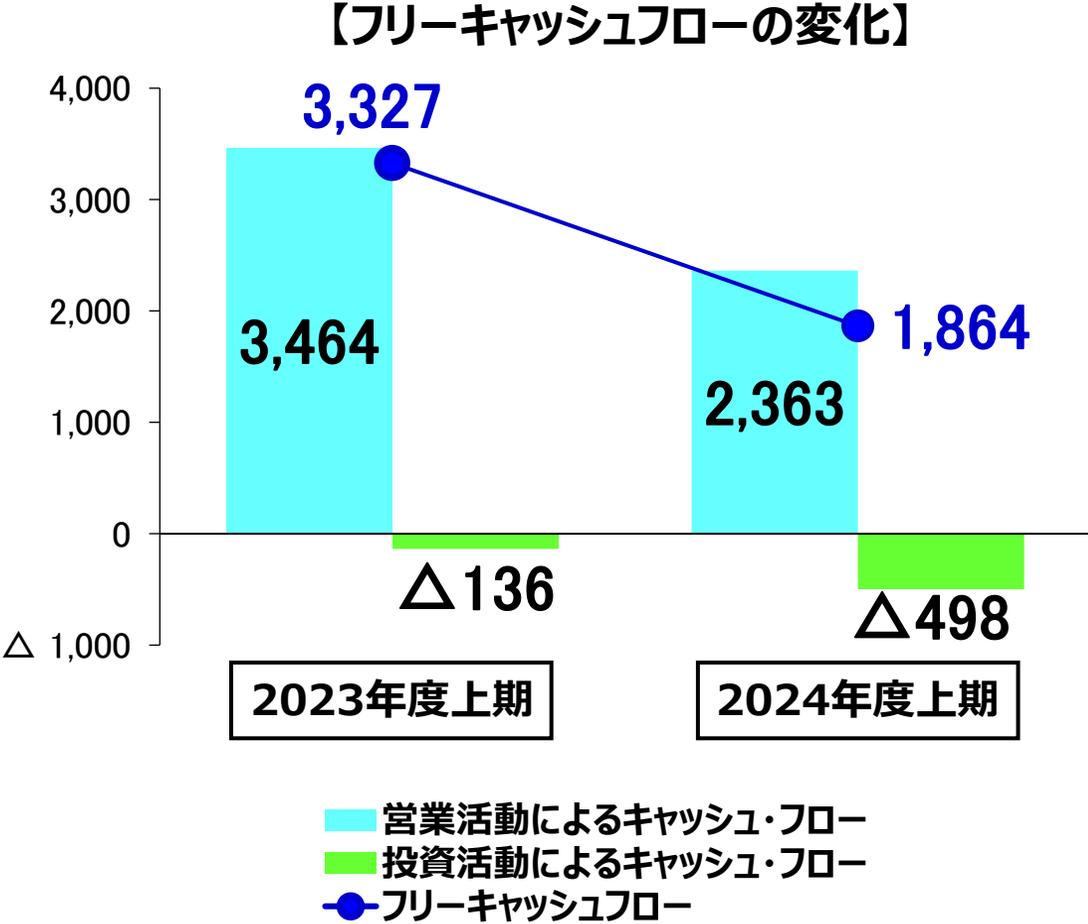
- ・親会社株主に帰属する  
  中間純利益 + 780
- ・剰余金の配当 △ 489
- ・アジア通貨高円安による  
  為替換算調整勘定の増加 + 1,235

# キャッシュ・フロー

- ▶ 営業CF 税引前利益の減少
- ▶ 投資CF 主に固定資産の取得による支出
- ▶ 財務CF 借入金の純減、配当金の支払い

(単位：百万円)

	2023年度 上期	2024年度 上期	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	3,464	2,363	△1,100
投資活動による キャッシュ・フロー	△136	△498	△362
フリーキャッシュフロー	3,327	1,864	△1,462
財務活動による キャッシュ・フロー	△985	△1,280	△295
現金及び現金同等物の 中間期末残高	9,066	8,922	△143





## 2. 2024年度（2025年3月期）通期業績予想

---

- ・事業環境
- ・業績予想
- ・設備投資額 / 減価償却費 / 研究開発費の推移

## ■ 2024年度 期初想定

### ◇ 世界経済

- ・米国のインフレおよび金融引締めによる景気減速懸念、中東やウクライナ情勢など地政学リスクの高まりを背景に先行き不透明な状況が続く見込み

### ◇ エレクトロニクス市場

- ・自動車の生産台数は堅調に推移、加えてx E V市場の成長加速により引き続き需要の拡大が見込まれる
- ・産業機器、民生機器等の分野は、在庫調整の継続が予想され、年後半からの緩やかな需要回復を見込む

## ■ 現時点の見通し

### ◇ 世界経済

- ・米国は個人消費を中心に底堅く推移、中国は不動産不況などから景気停滞が継続

### ◇ エレクトロニクス市場

- ・自動車は電動化の流れが進展しているものの、E V市場の成長は鈍化
- ・産業機器は低調に推移、民生機器等の分野は緩やかな需要回復を見込む

# 業績予想

期初に公表した通期業績予想から変更なし

▶ 売上高 430億円 前年比 +21.9億円

▶ 営業利益 27億円 前年比 +4.3億円

(単位：億円)

	2023年度 通期実績	2024年度 通期予想	前年比	
			増減	%
売上高	408.1	430.0	+21.9	+5.4
営業利益	22.7	27.0	+4.3	+18.8
営業利益率	5.6%	6.3%	—	—
経常利益	31.1	25.0	▲6.1	▲19.6
親会社株主に帰属する当期純利益	25.4	18.0	▲7.4	▲29.1
為替レート(期末) 1 US \$ = 円	151.41	140.00	—	—

# 設備投資額 / 減価償却費 / 研究開発費

- ▶ 設備投資は、主にアセアン拠点の拡充および生産設備の増強により増加 前年比+6.2億円
- ▶ 研究開発は、引き続き新センサや社会課題解決製品の開発に注力

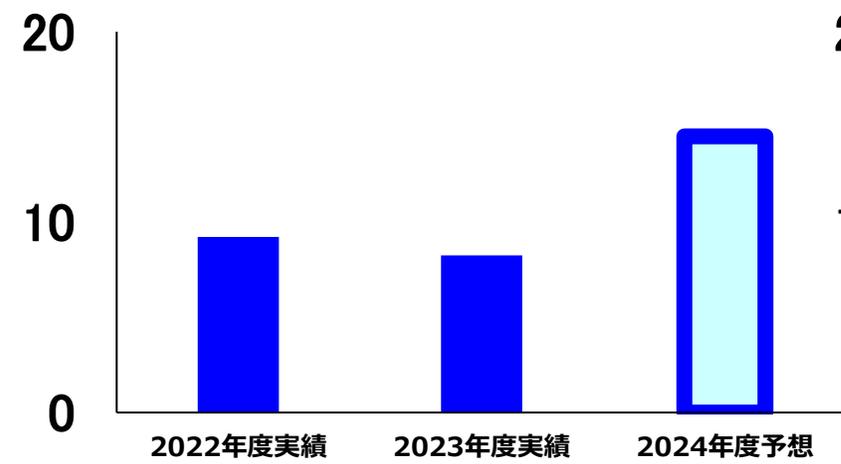
(単位：億円)

	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度		前年比	
			上期実績	通期予想	増減	%
設備投資額	9.2	8.3	4.4	14.5	+6.2	+75.8
減価償却費	11.0	10.2	4.9	10.6	+0.4	+4.1
研究開発費	14.3	14.4	7.9	14.0	▲0.4	▲2.4

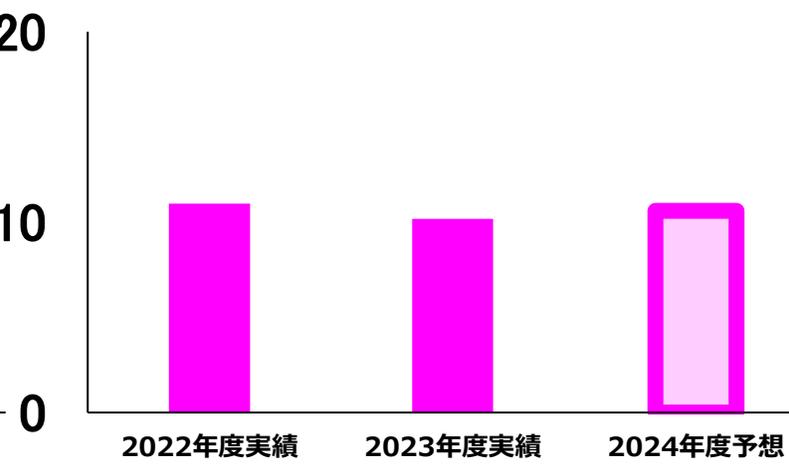
- 主な設備投資
  - ・アセアン拠点拡充、生産設備増強
  - ・DX、IT関連投資
  - ・サステナビリティ関連投資(省エネ設備等)
- 主な開発投資
  - ・新センサの開発
  - ・社会課題解決に寄与する製品開発  
(環境配慮型製品、IoT関連製品など)

(単位：億円)

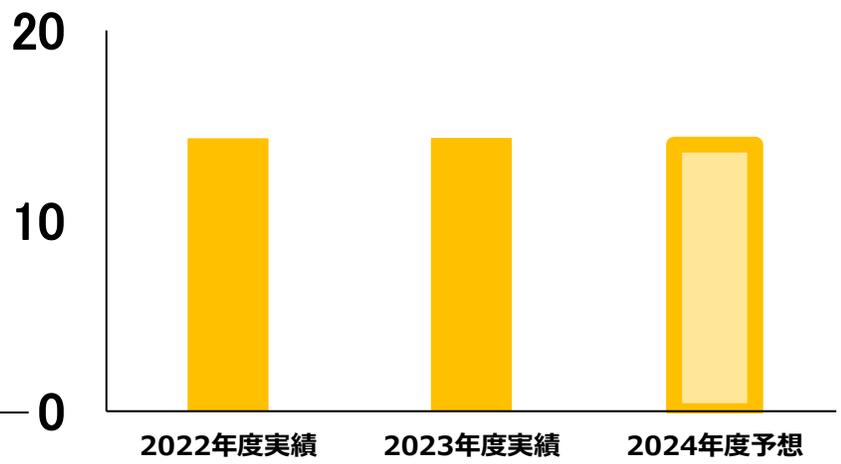
設備投資額



減価償却費



研究開発費



### 3. 企業価値向上に向けた取組み

---

- ・資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応状況
- ・株主還元

# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応状況

- ▶ 資本効率の向上を図る観点から剰余金の配当基準引き上げ
- ▶ 自己株式取得および消却の実施

▶ **株主還元のさらなる強化を図る**

## ■ 企業価値向上に向けた取組み

収益力の向上と株主還元の充実を通じてROEの向上を図り、成長期待の醸成とともに「PBR 1倍以上」を目指す

- ① ROE 10%以上
  - ・環境対策車向けを含めた新分野への拡販等により収益力向上
  - ・株主還元の充実化
- ② PER 10倍以上
  - ・売上を高め業績安定化
  - ・コーポレートガバナンス強化
  - ・サステナビリティ経営推進
  - ・IR強化

## ■ 株主還元のさらなる強化

	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 予想(期初)	2024年度 予想(11月)
1株当り当期純利益 (円)	77.36	307.33	220.53	221.71
1株当り純資産 (円)	2,043.56	2,463.43	2,623.96	2,659.22
1株当り配当金 (円)	55.00	60.00	60.00	80.00
配当性向 (%)	71.1	19.5	27.2	36.1
総還元性向 (%)	—	31.0	—	53.7
純資産配当率(DOE)(%)	2.8	2.7	2.4	3.1
自己株式取得額 (百万円)	—	299	—	500

剰余金の配当は、以下の指数をともに満たすように行っていく方針

・純資産配当率  
変更前 2.5%以上 → **変更後 3.0%以上**

・配当性向  
変更前 20%以上 → **変更後 35%目処**

# 株主還元

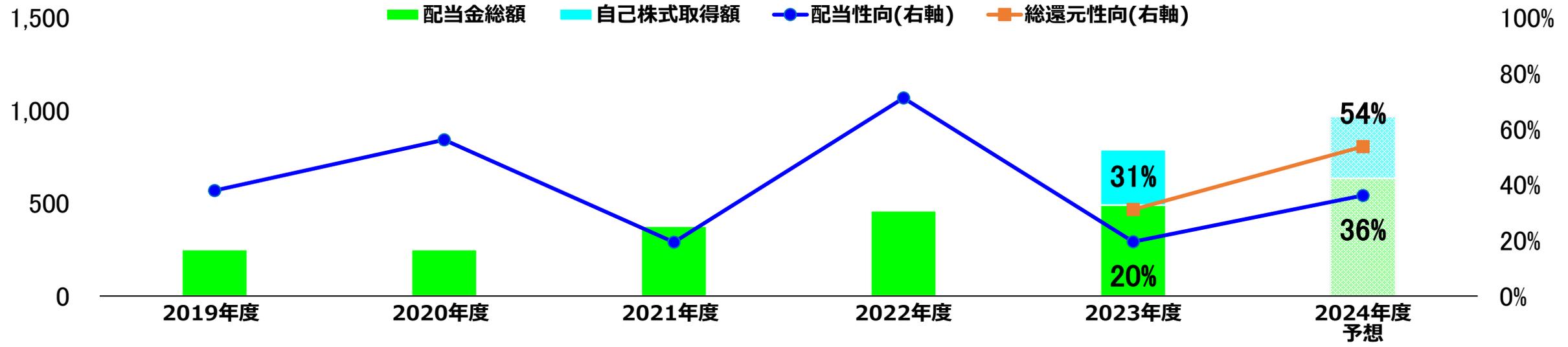
## ■基本方針

・株主還元をさらに強化し、資本効率の向上を図る

## ■年間配当金

・2024年度 期初予想に対して **20円増配の1株当たり80円を予定**

(単位：百万円)



	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 予想
1株当たりの年間配当金 (円)	30	30	45	55	60	80
1株当たりの当期純利益 (円)	79.24	53.47	232.89	77.36	307.33	221.71



## 4. トピックス

---

- ・「統合報告書2024」のご紹介

## 統合報告書を発行



中長期的な視点に立った経営戦略の実現を目指した取り組みを中心に取りまとめています。

### CONTENTS

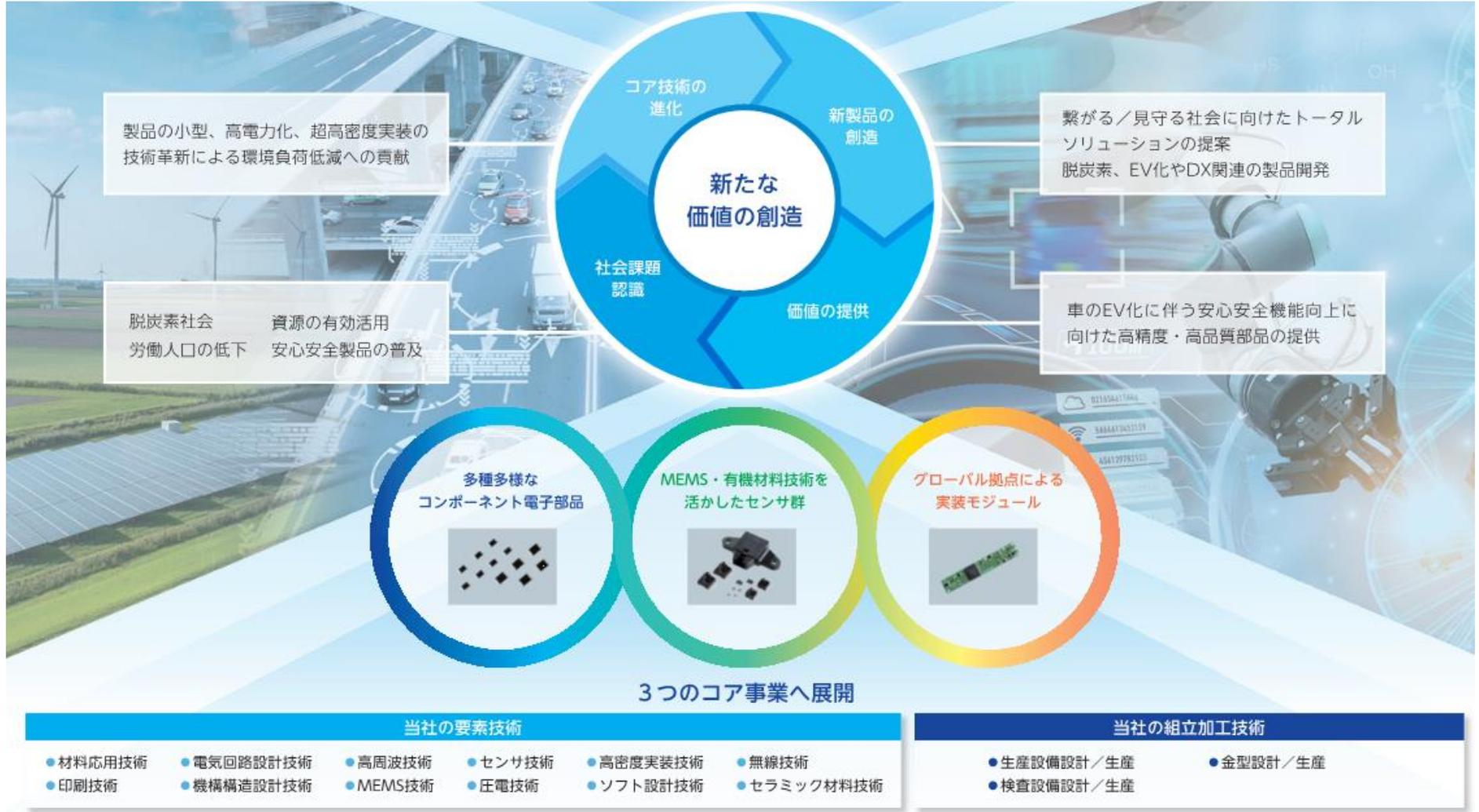
- ・STEP 01 価値創造ストーリー
- ・STEP 02 実行戦略と取り組み状況
- ・STEP 03 持続的な成長活動
- ・STEP 04 データセクション

当社ウェブサイトに掲載しております。ぜひご覧ください。

[https://www.hdk.co.jp/pdf/financ/tougou\\_20241004.pdf](https://www.hdk.co.jp/pdf/financ/tougou_20241004.pdf)

# 「統合報告書2024」のご紹介 ビジネスモデル(当社の強み)

- ▶ 社会課題を認識のもと、コア技術の進化による新製品開発で新たな価値を創造
- ▶ 「電子部品デバイス×実装×ソフト設計＝コア技術の融合」によるソリューション製品を提供



# 北陸電気工業株式会社

本資料に記載されている業績見通しにつきましては、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて当社が作成したものでありますが、経済環境や変動の激しいエレクトロニクス市場動向の変化など、様々な要因により実際の業績とは大きく異なる結果となる可能性があります。そのため、本資料の業績見通しや目標数値等に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。なお、本資料の利用の結果生じ得るいかなる損失に関しても、当社は一切責任を負いません。